

令和7年度9月補正予算 参 考 資 料

	頁	(補正予算資料) 頁
パーキング・パーミット制度の開始に向けた準備を進めます	1	4
新たな一時保護所の整備を推進します	2	4
県営都市公園大高緑地の将来構想を検討します	3	8
交通死亡事故抑止に向けて、交通安全対策を推進します	4	11

パーキング・パーミット制度の開始に向けた準備を進めます

福祉局福祉部障害福祉課
業務・調整グループ
内線 3230・3240
(ダイヤル)052-954-6294

予算額 12,678千円(新規)

2026年6月のパーキング・パーミット制度開始に向けて、事務局設置や広報啓発等の準備を進めます。

○対象者

障害者、要介護者、難病患者、妊産婦、
けが人等の歩行が困難と認められる者

○事業内容

- ・事務局の設置
- ・制度開始に向けた広報啓発の実施
- ・利用証等の作成

○スケジュール(予定)

2026年	3月	事務局の設置及び広報啓発等
	4月	利用証申請受付開始
	6月	制度開始

パーキング・パーミット制度

障害のある方など歩行が困難な方に対して、
利用証を交付することで、障害者等専用駐車
区画の対象者の明確化と当該駐車区画における
不適切な駐車を抑制し、適正利用を図ることを
目的とする制度



新たな一時保護所の整備を推進します

債務負担行為 2, 508, 081 千円

福祉局児童家庭課
児童虐待対策グループ
内線 3190・3192
(ダイヤル)052-954-6281

一時保護所に入所する児童の環境改善と受入体制の強化を図るため、三河地区の一時保護所の移転整備を進めます。

○事業概要

- ・ 工期短縮・コスト削減を図るため、設計及び施工を一括で発注するデザインビルド方式で整備
- ・ 子どもの権利擁護に十分配慮し、温かみのある生活環境となるようユニットと同様（居室・リビング・便所・浴室等が一体）の居住環境を整備

○事業期間

設計及び工事 2026 年度～2028 年度
供用開始予定 2029 年度

○2025 年度の予定

- 設計及び工事を行う事業者の選定
- ・ 入札説明書等の公表
 - ・ 提案書の受付
 - ・ 落札者の決定・公表

○整備概要

構 造：1 階 RC 造、2 階木造
（屋内運動場は木造）
敷地面積：7,000 m²
延床面積：3,600 m²
定 員：60 名

【一時保護所】

児童虐待や保護者の入院など様々な理由により、保護者が子どもを養育できないと児童相談所が判断した場合に一時的に保護を行う施設

県営都市公園大高緑地の将来構想を検討します

債務負担行為 178,470千円（新規）

都市・交通局都市基盤部
公園緑地課企画・都市緑化グループ
内線 2675・2679
(ダイヤルイン)052-954-6526

半世紀以上にわたり県民の皆様に親しまれてきた大高緑地のリニューアルに向け、将来構想を検討します。

1. 大高緑地のあゆみ

戦前	1940 年以前	田畑や山林が混在する丘陵地
	1940 年	第2次大戦時において中京工業都市の都市防衛を目的とした「環状緑地帯」の一部として都市計画決定

～戦局の緊迫化により整備中断～

戦後	創生期：戦後の整備再開と開園	
	1952 年	戦後復興期の都市緑化の一環として整備を再開
	1963 年	県営都市公園「大高緑地」として開園（花木園及び園路）
	拡大期：時代のニーズに応じた施設を順次整備	
	1966 年	「交通公園」を供用開始 ※県内初
	1969 年	「若草山」を利用開始
	1970 年	「野球場」を供用開始
	1971 年	「プール」を利用開始
	1977 年	「テニスコート」を供用開始
	1989 年	日本の都市公園 100 選に選出
	1989 年～	「あいち都市緑化フェア」を開催
	1990 年	「ゲートボール場」を利用開始
	2001 年	「デイキャンプ場」を供用開始
	2008 年	「ドッグラン」を利用開始 ※愛知県営都市公園初
	成熟期：イベント開催と民間活力の導入	
	2014 年～	「サムライ・ニンジャ・フェスティバル」を開催
	2016 年	民間による「ディノアドベンチャー名古屋」が開業
	2021 年	「若草山」芝生広場の環境改善（人工芝、排水施設） 「プール」の廃止

2. 大高緑地の将来構想

- ・廃止したプール施設の撤去が完了
- ・新たな用地の買収がおおむね完了

大高緑地のポテンシャルを最大限に活かした将来構想検討

- ・未整備区域の有効活用による新たな魅力の創造
プール跡地等の未整備区域を有効活用、新たな魅力を創造する
- ・長年親しまれてきた公園の再生によるバリューアップ
誰もが使いやすく快適に過ごせるよう、時代に合った魅力ある公園へ
- ・機能的な施設配置による利便性の向上
来園者の動線に配慮した施設配置により、誰もが使いやすい公園へ
- ・優れた交通アクセスを活かした交流機能の強化
ＪＲ・名鉄の鉄道駅や幹線道路から近く、交通至便の強みを活かし、さらに多くの交流を生み出す

3. 将来構想検討に向けた取組

環境調査や民間活力の導入も視野に入れたサウンディング調査を実施し、愛知を代表する、魅力あふれる公園づくりを目指します。

大高緑地の概要

所在地 名古屋市緑区
供用開始 1963 年 4 月 20 日
面積 121.2ha
最寄り駅 名鉄名古屋本線 左京山駅、ＪＲ東海道線 南大高駅

交通死亡事故抑止に向けて、交通安全対策を推進します

予算額 118,366千円

警察本部 交通規制課
電話 052-951-1611(代表)
内線 5161・5165

本県の厳しい交通事故情勢を踏まえ、交通事故多発交差点において、ドライバーや自転車利用者、歩行者の視認性を高め、交通事故抑止効果の高い信号灯器のLED化等の交通安全施設を緊急に整備し、交通安全対策を一層推進します。

信号灯器、道路標識・標示の整備

- 信号灯器のLED化 208 灯
- 道路標識の更新 614 本
- 道路標示の更新 190.5 km



道路標識、道路標示の整備



信号灯器のLED化

